

玉村町 文化財通信

2024年2月6日発行

(次号3月発行予定)

第22号



いにしえ
～らよっとそこまで古探訪～



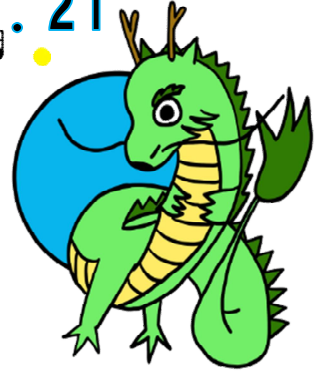
玉村町歴史どうぶつ散歩 Vol. 21

今月のどうぶつ散歩の動物は、今年の干支にちなんだ龍です。龍は想像上の動物です。水中または地中に住み、時に空中を飛行し、雲や雨を起こし、稲妻を放つと言われ、秋になると淵の中に潜み、春は天に昇るとも言われています。各地に龍にちなんだ様々な神話や伝説が残されています。

たまむら歌留多の「ち」の札はわかりますか？「町名の 玉を納めし 満福寺」玉村町の地名には伝説があります。平安時代の天慶（てんぎょう）年間（938～47）にある土豪が、沼田（のんだ）【伊勢崎市柴崎・八斗島町（やったじままち）、玉村町五料地域】の庄の美しい娘を平将門に差し出すことを企てて、そのことを知った娘の父は娘を相思相愛の仲にあった錦野（玉村町域）の若者のもとに走らせたけれど、娘は錦野の里を流れる矢川のほとりで追いつかれて川に身を投げてしまい、若者も後を追いました。この後、この川に光る二つの碧玉（へきぎょく）が漂うのを見た村人は、この玉を拾い上げて近戸大明神（ちかどだいみょうじん）（玉村町福島と南玉の間にあったといわれる神社）として祀りました。

そして今から約500年前、利根川の大洪水の濁流中に龍神が現れ、近戸大明神に竜巻を起こして碧玉を一つ持ち去ってしまいました。そこで村人は「別院 玉龍山（ぎょくりゅうざん）」を設けて残った碧玉を二重の箱に納めて祀りました。しかし、その後もたびたび洪水が起こったため、新たに新田村（玉村町上新田・下新田）をつくって、龍の玉によってできた村なので「玉村」と呼ぶようになったという伝説です。

満福寺（福島1251）には、残る一つの碧玉が納められているという黒塗りの二重の箱があり、二番目の箱を開けると失明すると言われていました。また、この伝説の原話とされる資料「玉村之故実」（玉村小学校寄託）には、「玉村の親村は南玉村なり。これは近戸の玉有るゆえなり」とあります。こちらの資料は、玉村町歴史資料館で見ることができます。



2/11
(日)

早春の三大祭りのお知らせ

【すみつけ祭】地元と関係者のみで縮小開催されるため、観光客の見学はできません。

【春鍬祭】

14:30 原森公民館（樋越 399-8）出発

15:00 樋越神明宮（樋越 412-4）

拝殿で神主・禰宜・氏子総代・作頭・鍬持たちによる祭典

15:30 境内で春鍬祭の本番 16:00 終了

【稲荷神社獅子舞】9:30 上新田公民館出発
(上新田 1800-1)

10:00～11:00 上新田稲荷神社（上新田 1590）にて剣の舞を披露

11:20～11:40 角町・純手打そば与志乃（上新田 449-5）でボンデンを披露

12:00～12:15 上新田公民館で花崩しを披露

13:30～13:45、13:55～14:10 上新田公民館で花酔、上新田公園（上新田 1805-11）でボンデンを披露 15:15 終了

重田家住宅

～公開・活用にむけて②～

今まで大きな催事開催時は駐車場が不足することがありましたが、敷地の南東側に碎石敷の簡易駐車場を整備しました。

催事主催関係者の詰込用駐車場として、主要駐車場のサブパーキングとしてご活用ください。

（重田家住宅管理担当者）

今年度通常公開情報：平日の水・木・金曜日、毎月第4土曜日 10:00～16:00（最終入館は15:30まで）なお、夜間の催事等はその都度対応します。都合により臨時休館あり。

文化財・歴史資料館 情報

スタンプカード
対象事業

2/24
(土)

重田家住宅 第4土曜日公開イベント
群馬県出前なんでも講座

「ぐんまのロケ誘致推進」

重田家住宅をぐんまフィルムコミッションに登録したことを記念して、ぐんまフィルムコミッションの役割やロケ誘致による地域活性化についてご紹介します。

【開催時間】午後2時～3時

【場所】国登録有形文化財 重田家住宅
(玉村町小泉42番地)

【定員】30席(事前申し込み不要。直接お越しください。)

【講師】大島嗣之さん(ぐんまフィルムコミッション)

【協力】ぐんまフィルムコミッション
講座(30分)のあと、重田家住宅見学会を行います。

入場無料

スタンプカード
対象事業

3/3
(日)

重田家住宅健康塾

～医家の歴史を持つ重田家住宅で健康づくり～

【開催時間】午前10時～正午

【内容】食事についての講座・健康イベント体験

【会場】重田家住宅(玉村町小泉42番地)

【定員】先着20名 ①②③の中から1つ選ぶ。

【健康イベント体験定員】①ピラティス6名 ②ハーブ7名 ③調理7名

【持ち物】ピラティス：ピラティス又はヨガマット
(お持ちでない方は大きめのバスタ

オル)・動きやすい服装・タオル・飲み物

調理コース：エプロン・三角巾・マスク(調理時用)

申込方法：2月15日(木)より電話または文化財係
窓口にて受付

※事前申し込みが必要です。

※記念品差し上げます。

共催：玉村町公民館、協力：保健センター

申し込み・問合せ：玉村町生涯学習課文化財係
0270-30-6180

参加無料

令和5年度玉村町歴史資料館 歴史講座

今回は以下のテーマで行います。

参加者募集!

①2月24日(土)

「歴史的建造物の継承に向けて-玉村町の歴史的
建造物を通して-」 講師：村田 敬一氏

②3月16日(土)

「利根川・烏川合流域の景観と武士-「鎌倉殿」の
時代の玉村-」 講師：長谷川 明則氏

③3月23日(土)

「樋越薬師遺跡・西上之宮遺跡・東上之宮遺跡に
ついて-令和5年度の発掘調査-」

講師：宮下 寛氏

【時間】午前10時～11時30分

【会場】玉村町文化センター小ホール

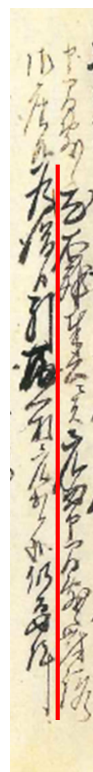
【対象】一般(原則、全日程参加できる方)

【定員】100名(先着) 【受講料】無料

【申し込み】文化財係事務室・歴史資料館にて電話ま
たは窓口にて受け付けています。

古文書を読んでみよう!

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「女子引取一札」を毎回少しずつ読んでいきます。
第二回目はこの文章を読んでいきましょう。



書き下し文：為後日引取一札差出候処、仍而如件、
読み方：ごじつのためひきとりいっさつさしだしそろうところ、
よってくだんのごとし

現代語訳：、後日の証拠として引き取りの証文を差し出すところ、
したがって上記のとおりでございます。

(次号へ続く)

○玉村町誌別巻IV(三右衛門日記一)～別巻VIII(三右衛門日記五)
歴史資料館にて好評発売中!

☆ 発行 ☆

玉村町生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館 (電話) 0270-30-6180
☎370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島 325 番地 玉村町文化センター内

